

平成 30 年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)

1 予算概要

(単位：千円)

項 目	30 年度 予算案	29 年度 予算	増△減	説 明
歳 入	423,753	439,530	△15,777	
掛金収入	375,000	375,000	0	1人月額 500円
基金繰入金	0	0	-	※30年度は取崩しを行わない
その他収入	24	1,748	△1,724	預金利子、有料広告料収入
他会計繰入金	13,809	13,101	708	一般会計負担金
前年度繰越金	34,920	49,681	△14,761	
歳 出	423,753	439,530	△15,777	
総務費	112,303	139,356	△27,053	事業運営、加入促進、電算システム保守管理費等
給付事業費	163,925	164,082	△157	加入褒賞金、入学祝金等の慶弔金品
福祉事業費	146,505	135,072	11,433	宿泊補助、スポーツ、プレイガイド、行事等
基金積立金	20	20	0	預金利子等積立
予備費	1,000	1,000	0	予備費

2 事業概要

(1) 給付事業

結婚、出産、入学祝、結婚記念祝、傷病見舞金、死亡弔慰金、加入褒賞金
(5・10・15年)、小・中学校入学祝品・永年勤労祝品の8種類

(単位：千円)

項目	30 年度予算案		29 年度予算		増△減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
慶弔金	16,045	146,040	16,364	146,845	△319	△805
祝品 (小・中学校入学、 永年勤労)	4,090	17,885	4,350	17,237	△260	648
計	20,135	163,925	20,714	164,082	△579	△157

(2) 福祉事業

ハマふれんどで直接提供する事業と総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」を組み合わせて、多様なサービスを提供します。

※ハマふれんど独自事業として提供するものは「独自」と表記、「ベネフィット・ステーション」で提供するものは「B・S」と表記しています。なお、施設数等は提供予定数です。

ア 健康を促進するサービス

(ア) 人間ドック等健診の補助（独自）

会員と配偶者を対象に、検診機関での人間ドック・生活習慣病健診・脳ドック受診の優待利用提供

（人間ドック補助：会員と配偶者対象それぞれ年1回・各5,000円補助）

(イ) スポーツ大会の企画・開催（独自）

ソフトボール、フットサル、テニス、ボウリング等の大会の企画・開催

(ロ) スポーツ施設の優待あっせん（B・S）

市内及び近郊のスポーツクラブ優待利用提供（市内20社）

(エ) EAP（メンタルヘルス施策）相談ダイヤルの提供（B・S）

健康に関する無料相談ダイヤル設置

イ 生活を支えるサービス

(ア) 育児支援サービスの提供（B・S）

- ・託児所やベビーシッターの提携割引、育児用品・幼児教育の優待あっせん等
- ・一時保育、月極保育等への育児補助金
- ・育児、託児についての無料相談ダイヤル設置

(イ) 介護支援サービスの提供（B・S）

- ・介護保険対象サービス、介護用品購入への補助
- ・介護用品の提携割引
- ・介護についての無料相談ダイヤル設置

(ロ) 家事サポートサービスの提供（B・S）

- ・家事代行業者との提携割引、宅配弁当の割引
- ・家事代行サービスへの補助

(エ) 家事代行サービス補助（独自）

家事代行サービスへの独自補助

(オ) 各種研修の企画・開催及び優待あっせん（独自）

新入社員セミナー等の企画・開催

(カ) 各種資格取得の支援（B・S）

無料eラーニングによる研修の利用提供（300講座以上）

(キ) 出合いの場の設定及び支援（独自+B・S）

- ・婚活恋活パーティー等の企画・開催
- ・結婚相談所等での会員特典

(ク) 優待価格で購入が可能な特約店舗等の提供（B・S）

会員証、クーポン提示による優待利用提供（市内494・県内681サービス）

(ケ) 生活電話相談の実施（B・S）

冠婚葬祭マナー、税務相談等について無料相談ダイヤル設置

ウ 余暇を有意義にするサービス

- (ア) 宿泊補助 (独自+B・S)
 - 宿泊補助券 年間最大 10,000 円 (@2,000 円×5 泊 (人) まで)
 - ・指定旅行会社での国内外ホテル、旅行商品等に対する利用補助
 - ・直接予約が可能な宿泊施設に対する利用補助 (103 施設)
 - ・ハマふれんどで実施する宿泊イベントに対する利用補助
 - ・ベネフィット・ワン直営施設 (6 施設)
- (イ) 各種旅行ツアー等の優待あっせん (独自)
 - 宿泊施設の、特別プランなどの利用提供
- (ロ) 各種チケットの優待あっせん (独自+B・S)
 - 野球・サッカーなどのスポーツ観戦、ミュージカル・歌舞伎・コンサート、落語等の公演チケットの優待提供
- (エ) 飲食店等優待価格での提供 (独自+B・S)
 - ・会員証提示やWEBサービスによる優待利用提供 (市内 542 店舗・県内 1,056 店舗)
 - ・味覚狩り等の割引チケット提供
- (オ) バスツアー優待あっせん等 (独自)
 - a 様々な名所等を季節ごとに楽しめるバス旅行等の優待利用提供
 - b 日帰りツアー補助券 年間最大 5,000 円 (@1,000 円×5 回 (人) まで)
 - 指定旅行会社でのバスツアー等、日帰りツアーに対する利用補助
- (カ) 東京ディズニーリゾート特別利用券の提供 (独自)
 - 東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券 (年 1,500 円@1 枚)
- (キ) レジャー施設の無料入場イベントの提供 (B・S)
- (ク) その他、事業者や会員及びその家族の福利厚生に寄与するサービス (独自+B・S)
 - ・各種レジャー施設の優待利用提供 (市内 122・県内 240 サービス)
 - ・主催講座・教室・体験会などの企画・実施
 - ・カルチャーセンター等の優待利用提供 (市内 282・県内 289 サービス)

(3) ホームページの管理運営

事業紹介のほか、各事業、各種補助券申請等のホームページによる受付

(4) 加入促進

- ア 事業紹介パンフレットの作成及び配布
- イ 未加入事業所へのダイレクトメール発送
- ウ 関係団体等と連携した周知 (広報紙等による加入促進)
- エ 加入促進担当者の設置、架電及び訪問による加入促進
- オ 新規加入事業所紹介制度の実施
- カ 交通機関等加入促進に効果のある媒体への広告掲出
- キ その他加入促進に有効な活動の実施

(5) ハマふれんどニュース・ガイドブック等の発刊

- ア 「事務の手引き」の配布 (新規加入事業所対象)
- イ 2018 年度版「ガイドブック」による各種サービス内容の紹介 (全会員対象)
- ウ 「ハマふれんどニュース」による事業への参加募集 (隔月発行・全会員対象)
- エ 「ハマふれんどニュース」臨時号による事業内容周知等 (年 2 回)
- オ 事業紹介パンフレットの作成及び配布 (未加入事業所への PR に活用)

カ 事業主・労務担当者向けニュースの作成及び配布（隔月発行）

(6) 会員ニーズ等の把握

- ア 「ハマふれんどニュース」による全会員を対象としたアンケートの実施（年1回以上）
- イ 事業の参加者などを対象としたアンケート等を実施
- ウ 福祉事業の応募・利用状況、競争率等による会員ニーズの把握
- エ ホームページ上での会員意見の募集（「会員様ご意見BOX」の設置）

【参考：会員数の状況】

1 会員数の推移

	各年度3月現在の加入者数		対前年度増減	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
25年度	5,007社	63,279人	3社	1,643人
26年度	4,951社	63,935人	△56社	656人
27年度	4,719社	63,526人	△232社	△409人
28年度	4,570社	62,906人	△149社	△620人
29年度	4,540社	64,686人	△30社	1,780人

2 新規加入者数の推移

	新規加入者数		増△減（対前年度）	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
25年度	240社	2,498人	1社	328人
26年度	142社	1,361人	△98社	△1,137人
27年度	134社	1,284人	△8社	△77人
28年度	124社	831人	△10社	△453人
29年度	201社	1,839人	77社	1,008人

3 脱退者数の推移

	脱退者数		増△減（対前年度）	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
25年度	237社	1,077人	22社	△708人
26年度	198社	1,256人	△39社	179人
27年度	366社	1,919人	168社	663人
28年度	273社	2,481人	△93社	562人
29年度	231社	1,063人	△42社	△1,418人